帝京大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修プログラム

Ⅰ．プログラム概要

リハビリテーション科専門医とは、病気や外傷、加齢などによって生じる障害を予防、診断、治療し、機能の回復並びに活動性の向上や社会参加に向けてのリハビリテーションを担う医師です。本研修プログラムは、患者から信頼され、すぐれた医療を提供できるリハビリテーション科専門医となるために、適切な教育を行い、十分な知識と経験を身につけるために構成しています。

1）到達目標

リハビリテーション科が診る疾病や障害は、(1) 脳卒中、外傷性脳損傷など、(2) 脊髄損傷、脊髄疾患、(3) 骨関節疾患、骨折、(4) 小児疾患、(5) 神経筋疾患、(6) 切断、(7) 内部障害、(8) その他（廃用症候群、がん、疼痛性疾患など）を中心として多岐にわたります。また、リハビリテーションは可及的速やかに開始するのが基本である一方、回復期を経て生活期まで、長期的に関わる点も特徴です。

本プログラムは、このように疾病や障害を横断的に診ることと時間的な経過を診るという両面に渡る研修を達成することを目標とし、大学病院（主に急性期医療）、回復期リハビリテーション病棟、小児医療・療育施設、介護関連施設、更生相談所が有機的に協力し合って充実した研修環境を提供します。

さらに、障害をもつ方々が地域での安心した生活を送れるようにする地域リハビリテーションならびに地域医療の実践も欠かせません。研修施設は、都内で救急医療を担う急性期を中心とした基幹病院と、都内で中核を担う回復期、小児の拠点、さらには周辺関東圏で医療と介護を併せ持って地域リハビリテーションの中心的役割を果たしている連携施設から構成され、生活機能を考えるリハビリテーションの研修が配慮されています。

なお、研修カリキュラムの項目、ならびに、項目ごとの到達目標については、日本リハビリテーション医学会研修カリキュラムに詳細を記載しています。専攻医の研修プログラム例とモデルコースについては項目XIを参照してください。

2）教育ポリシー

帝京大学医学部附属病院は特定機能病院として高い専門性を有し、基本領域とサブスペシャリティの幅広い診療科における専門医研修体制を構築しています。特徴は診療科間の交流が盛んなことであり、例えば、救急救命科、脳神経外科、神経内科、整形外科、循環器内科（心臓リハビリテーションセンター）、緩和ケア科、外科、小児科などすべての臨床科とリハビリテーション科が横断的交流をしています。また、日常診療においても、リハビリテーション科医が全診療科と協力し、各病棟にフットワーク軽く出入りしています。一方で、同門会を組織して、地域に根差した医療のネットワークを持っています。連携施設としては、た

くさんの回復期リハビリテーション病棟をもつ病院、療養型病院、介護保険サービスをもつ複合施設があります。

帝京大学医学部の医学研究科博士課程には、初期研修を終えた医師を迎え入れ、リハビリテーション医学分野で活躍する高度専門臨床医を養成する「リハビリテーション科学コース」があります。後期研修医やリハビリテーション科常勤医として身分を置きながら、本コースを履修することもでき、大学院のコースでも、連携施設にて関連各領域・科をローテートしながら研究を行うことになっており、専門研修と博士課程の併行が可能なため、専門医と同時に学位取得を目指すこともできます。

東京都内および近郊で展開する本研修プログラムは、日本全国をリードするリハビリテーション科医の育成を目指しています。日本の各分野の中心である東京に位置するので、学会や研修会などへの参加にも便利であり、日本中から専攻医を受け入れられるように、研修環境を整備しています。

Ⅱ．募集定員

4　名

Ⅲ．研修期間

研修期間開始年度 4 月 1 日～翌々年度 3 月 31 日（3 年間）

（希望者はさらに 1 年、計 4 年間の研修も可能である。）

Ⅳ．募集期間・方法

研修期間開始前年度 10 月 1 日～10 月 30 日

Ⅴ．選考方法

研修履歴、履歴書等の書類選考ならびに面接試験により採用を決定します。

面接日時・場所：研修期間開始前年度 11 月・基幹施設　予定

Ⅵ. 研修施設

1）基幹施設

帝京大学医学部附属病院　リハビリテーション科
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数：4 名
　所在地：東京都板橋区
　専門研修プログラム統括責任者：緒方直史（診療科長）

2）連携施設

帝京大学医学部附属病院溝口病院　リハビリテーション科
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数１名
　所在地：神奈川県川崎市
　指導医：原　元彦（リハビリテーション科科長）

筑波記念病院　リハビリテーション科
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数：2 名
　所在地：茨城県つくば市
　指導医：伊佐地　隆（リハビリテーション統括部長）
　　安岡　利一（地域リハビリテーション部長）

JCHO 東京新宿メディカルセンター　リハビリテーション科
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数：2 名
　所在地：東京都新宿区
　指導医：室生　祥（リハビリテーション科主任部長）

旭神経内科リハビリテーション病院　リハビリテーション科
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数：1 名
　所在地：千葉県松戸市
　指導責任者：旭　俊臣（理事長・院長）
　指導医：溝渕　敬子

戸田中央リハビリテーション病院　リハビリテーション科
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数：1名
　所在地：埼玉県戸田市
　指導医：西野　誠一（副院長・部長）

NTT 東日本　伊豆病院　リハビリテーション科
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数：1名
　所在地：静岡県函南町
　指導医：小山　新太郎（部長）

東京都立北療育医療センター　整形外科（リハビリテーション科）
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数：１名
　所在地：東京都北区
　指導医：中村　純人（整形外科医長　訓練科長）

新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院　リハビリテーション科
　受け入れ数：1名
　所在地：新潟県南魚沼市
　指導医：大西　康史（リハビリテーション科科長）

東京北医療センター　リハビリテーション科
　公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
　受け入れ数：1名
　所在地：東京都北区
　指導医：長田　充（医長）

東京都立東大和療育センター　リハビリテーション科
　受け入れ数：1名
　所在地：東京都東大和市
　指導医：曽根　翠（医長）

国立精神・神経医療研究センター　リハビリテーション科
　受け入れ数：1名
　所在地：東京都小平市

指導医：原　貴敏（部長）

JR 東京総合病院・リハビリテーション科
受け入れ数：1 名
所在地：東京都渋谷区
指導医：田中　清和　（部長）

上尾中央総合病院　リハビリテーション科
受け入れ数：1 名
所在地：埼玉県　上尾市
指導医：山本　昌義（リハビリテーションセンター長）

医療法人社団協友会　吉川中央総合病院　リハビリテーション科
公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
受け入れ数：1 名
所在地：埼玉県吉川市
指導医：関根千晶（リハビリテーション科）

4）関連施設

霞ヶ関南病院　リハビリテーション科
公益社団法人日本リハビリテーション医学会認定研修施設
所在地：埼玉県川越市
指導責任者：下松　智哉

新潟県立十日町病院　　リハビリテーション科
所在地：新潟県十日町市
指導責任者：大西　康史

板橋区障がい者福祉センター
障がいのある方及び介護者の方に指導・訓練・相談などを行うほか、各種講習会の開催や施設の貸し出しを行う区の施設。
指定管理を社会福祉法人東京援護協会（千代田区鍛冶町 1-8-5）が担当している。
研修担当領域：補装具の更生相談の実地研修
所在地：東京都板橋区高島平 9 丁目 25 番 12 号
担当：伊佐地　隆（筑波記念病院リハビリテーション総括部長）

Ⅶ. 各研修施設の研修分野

◎　豊富な症例数を経験できる
○　必要な症例数を経験できる
△　研修時期によっては最低限の症例数を経験できない可能性がある
×　当院では研修困難

1）基幹施設

帝京大学医学部附属病院リハビリテーション科

急性期を中心に豊富な種類と数の症例を経験できる。
研修担当領域：各疾患急性期・周術期・がん・心臓・骨関節・切断・神経筋・廃用症候群

リハビリテーション分野	急性期	回復期（相当期）	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	◎	△	△
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	○	△	△
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	○	△
(4) 小児疾患	○		
(5) 神経筋疾患	○		
(6) 切断	○	△	○
(7) 内部障害	◎	△	△
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	◎	△	○

2）連携施設

帝京大学医学部附属病院溝口病院リハビリテーション科

急性期を中心に豊富な種類と数の症例を経験できる。
研修担当領域：各疾患急性期・周術期・がん・心臓・骨関節・切断・神経筋・廃用症候群

リハビリテーション分野	急性期	回復期（相当期）	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	◎	△	△
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	○	△	△
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	○	△
(4) 小児疾患	○		
(5) 神経筋疾患	○		
(6) 切断	○	△	○
(7) 内部障害	◎	△	△
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	◎	△	○

筑波記念病院　リハビリテーション科

急性期、回復期、生活期全体を通じたリハビリテーションの過程を経験できる。
研修担当領域：回復期リハビリテーション病棟、療養病棟・脳卒中・脊髄損傷・骨関節、急性期、生活期：老人保健施設、通所・訪問、小児

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	◎	◎	◎
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	◎	◎	◎
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	◎	◎
(4) 小児疾患	◎		
(5) 神経筋疾患	○		
(6) 切断	○	○	○
(7) 内部障害	◎	◎	○
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	◎	◎	○

JCHO 東京新宿メディカルセンター　リハビリテーション科

急性期、回復期を通じたリハビリテーションの過程を経験できる。
研修担当領域：回復期リハビリテーション病棟・脳卒中・脊髄損傷・骨関節

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	◎	◎	◎
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	○	○	◎
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	◎	○
(4) 小児疾患	△		
(5) 神経筋疾患	○		
(6) 切断	△	△	×
(7) 内部障害	◎	○	
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	◎	◎	△

旭神経内科リハビリテーション病院　リハビリテーション科

回復期から生活期を通したリハビリテーションの包括的ケアを経験できる。
研修担当領域：回復期リハビリテーション病棟・脳卒中・神経筋・認知症
生活期：老人保健施設

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	×	◎	○
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	×	△	△
(3) 骨関節疾患、骨折	×	◎	○
(4) 小児疾患	×		
(5) 神経筋疾患	△		
(6) 切断	×	△	△
(7) 内部障害	×	△	△
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	×	○	○

戸田中央リハビリテーション病院　リハビリテーション科

回復期を中心に豊富な種類と数の症例を経験できる。
研修担当領域：回復期リハビリテーション病棟・脳卒中
生活期：通所・訪問（付属施設のリハクリニックにて）

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	×	◎	◎
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	×	◎	○
(3) 骨関節疾患、骨折	×	◎	○
(4) 小児疾患	×		
(5) 神経筋疾患	△		
(6) 切断	×	△	△
(7) 内部障害	×	○	○
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	×	△	△

NTT 東日本伊豆病院　リハビリテーション科

回復期を中心に豊富な種類と数の症例を経験できる。
研修担当領域：回復期リハビリテーション病棟・一般病棟・脳卒中
生活期：通所・訪問

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	△	◎	◎
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	△	◎	○
(3) 骨関節疾患、骨折	○	◎	○
(4) 小児疾患	×		
(5) 神経筋疾患	△		
(6) 切断	△	△	△
(7) 内部障害	○	○	○
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	○	○	○

東京都立北療育医療センター　整形外科

障害児の入院・入所・通院・通所施設
研修担当領域：小児リハビリテーション・療育

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(4) 小児疾患	○		

新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院　リハビリテーション科

急性期を中心に豊富な種類と数の症例を経験できる。
研修担当領域：各疾患急性期・周術期・がん・心臓・骨関節・切断・神経筋・廃用症候群

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	◎	○	△
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	○	△	×
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	○	△
(4) 小児疾患	○		
(5) 神経筋疾患	○		
(6) 切断	△	△	×
(7) 内部障害	◎	○	△
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	◎	○	△

東京都立東大和療育センター　リハビリテーション科

小児疾患について豊富な患者を経験できる。小児疾患に合併した脳血管障害、骨関節疾患、内部障害などの患者も経験できる。
研修担当領域：小児リハビリテーション・療育

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	×	×	△
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	×	×	×
(3) 骨関節疾患、骨折	△	△	△
(4) 小児疾患	◎		
(5) 神経筋疾患	△		
(6) 切断	×	×	×
(7) 内部障害	△	△	○

(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	×	×	△

東京北医療センター　リハビリテーション科

高齢化率の高い地域に所在する急性期病院で、脳血管疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、骨関節疾患・外傷等種々の疾患に対する発症後早期からのリハビリテーションを行っている。また、必要に応じて訪問リハビリテーションも提供しており、退院後の在宅療養環境の整備等への介入も可能である。

研修担当領域：急性期リハビリテーション病棟・脳卒中・脊髄損傷・骨関節

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	◎	○	△
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	○	△	×
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	○	○
(4) 小児疾患	△		
(5) 神経筋疾患	△		
(6) 切断	△	△	×
(7) 内部障害	◎	○	△
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	◎	○	△

国立精神・神経センター病院・リハビリテーション科

年間新患数 2360 名中神経筋疾患 1769 名、小児神経疾患 288 名であり、神経筋疾患・精神疾患に特化した病院である。

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	×	×	×
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	○	○	○
(3) 骨関節疾患、骨折	△	△	△
(4) 小児疾患	◎		
(5) 神経筋疾患	◎		
(6) 切断	×	△	△
(7) 内部障害	△	△	△
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	○	○	○

JR 東京総合病院・リハビリテーション科

急性期から生活期まで、回復期リハビリ病棟を持つ総合病院として幅広い疾患のリハビリテーションの研修が可能です。

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	◎	◎	○
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	×	○	○
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	◎	○
(4) 小児疾患	×		
(5) 神経筋疾患	○		
(6) 切断	◎	◎	◎
(7) 内部障害	○	○	×
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	○	○	×

上尾中央総合病院　リハビリテーションセンター

急性期、回復期を通じたリハビリテーションの過程を経験できる。
研修担当領域：

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	◎	◎	△
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	◎	◎	△
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	◎	△
(4) 小児疾患	×		
(5) 神経筋疾患	△		
(6) 切断	◎	◎	△
(7) 内部障害	◎	○	×
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	◎	○	×

医療法人社団協友会　吉川中央総合病院　リハビリテーション科

急性期、回復期を通じたリハビリテーションの過程を経験できる。
研修担当領域：回復期リハビリテーション病棟・脳卒中・脊髄損傷・骨関節

リハビリテーション分野	急性期	回復期	生活期
(1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など	×	◎	×
(2) 脊髄損傷、脊髄疾患	×	×	×
(3) 骨関節疾患、骨折	◎	◎	×
(4) 小児疾患	×		
(5) 神経筋疾患	×		
(6) 切断	×	×	×
(7) 内部障害	×	×	×
(8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)	×	△	×

Ⅷ. 研修施設紹介

1) 基幹施設

帝京大学医学部附属病院
所在地：173-8606　東京都板橋区加賀 2-11-1　　電話　03-3964-1211

特定機能病院 / 地域がん診療連携拠点病院 / 東京都災害拠点病院 /
救命救急センター / 東京都指定二次救急医療機関 / 救急告示医療機関 /
東京都地域救急医療センター / 総合周産期母子医療センター /
東京都エイズ診療拠点病院 / 東京都神経難病医療拠点病院 /
東京都肝臓専門医療機関指定 / 東京都脳卒中急性期医療機関 /
基幹型臨床研修病院 / 外国人医師臨床修練指定病院

疾患別リハビリテーション料施設基準
脳血管疾患等リハビリテーション料　Ⅰ
運動器疾患リハビリテーション料　Ⅰ・Ⅱ
呼吸器疾患リハビリテーション料　Ⅰ
心大血管疾患リハビリテーション料　Ⅰ
がん患者リハビリテーション料

リハビリテーション科病床数：２床

当院リハビリテーション科は、新生児から高齢者まで、また、四肢の運動機能、脳、

心臓、呼吸器、種々のがん、そして加齢に伴う心身の変化など医療のほぼすべての領域にわたって、各診療科と連携して、高い専門性を持つ計画的なリハビリテーション診療を行っている。

診療対象は、低出生体重児など新生児、発達遅滞、脳性麻痺、脊髄損傷を含む脊椎脊髄疾患、関節リウマチなど骨関節疾患、切断、脳卒中、脳腫瘍、外傷性脳損傷、神経筋疾患、呼吸器・循環器疾患、種々の疾患の手術前後、安静臥床に伴う廃用症候群、慢性疼痛、各種各時期のがん患者、リンパ浮腫、高次脳機能障害などきわめて幅広い。

2016 年に新患としてリハビリテーションを実施した患者数の概数は、脳卒中・脳外傷等の脳疾患 2,330 人、脊髄損傷とその他脊椎脊髄疾患 680 人、リウマチ等骨関節疾患 530 人、神経筋疾患 980 人等、脳性麻痺等小児疾患 80 人などである。

特徴的診療領域としては、義肢装具・車いすシーティング、急性期から社会復帰までの高次脳機能障害対応、ボツリヌス療法を含む痙縮治療、センターで行う心臓リハビリテーション等があげられる。

2）連携施設

・帝京大学医学部附属溝口病院

所在地：213-8507　川崎生高津区二子 5－1－1　　電話　044-844-3333

災害拠点病院

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料　I
運動器疾患リハビリテーション料　I
呼吸器疾患リハビリテーション料　I
がん患者リハビリテーション料

帝京大学医学部が持つ神奈川県での附属病院であり、リハビリテーション科の関連施設である。大学病院としての急性期疾患を中心に高い専門性を持つ計画的なリハビリテーション診療を行っている。

診療対象は、脳性麻痺、脊髄損傷を含む脊椎脊髄疾患、関節リウマチなど骨関節疾患、切断、脳卒中、脳腫瘍、外傷性脳損傷、神経筋疾患、呼吸器、種々の疾患の手術前後、安静臥床に伴う廃用症候群、慢性疼痛、各種各時期のがん患者、高次脳機能障害、嚥下障害などきわめて幅広い。嚥下障害については積極的に関わっており、嚥下内視鏡や造影検査に力を入れている。高次脳機能障害対応、ボツリヌス療法を含む痙縮治療にも積極的に取り組んでいる。
また、臨床のみならず大学病院としての研究活動も積極的に行っている。

・筑波記念病院

所在地：　300-2622　つくば市要町 1187-299　　電話　029-864-1212

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院
臨床研修指定病院
二次救急医療機関
茨城県指定地域リハビリテーション研修推進支援センター
茨城県指定地域リハ・ステーション
茨城県指定小児リハ・ステーション

回復期リハビリテーション病棟　　52　床

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料	I
運動器疾患リハビリテーション料	I
呼吸器疾患リハビリテーション料	I
心大血管疾患リハビリテーション料	I
がん患者リハビリテーション料	I

当院は二次救急対応の急性期から在宅訪問まで切れ目のないリハビリテーション医療を提供している。4名のリハ科医［うち3名が専門医（うち2名が指導医)、1名が認定臨床医］と230名のリハ専門職を有し、ICU、急性期、地域包括ケア、回復期、療養、通院リハという医療のすべての時期とすべての疾患に対応でき、老健、通所リハ、訪問リハ、就労支援、健康増進と医療・介護・障害者総合支援、予防のすべての分野、小児から高齢者まですべての年代にわたり、茨城県の中心的、指導的なリハを展開している。年間患者数の概数は、急性期では脳卒中・脳外傷等の脳疾患 200 人、廃用症候群含む内部障害 500 人、脊髄損傷その他脊椎脊髄疾患 50 人、骨関節疾患 200 人、小児疾患 30 人、神経筋疾患 20 人等である。回復期では脳外科、整形外科とも協力し、脳卒中・脳外傷、骨関節疾患、廃用症候群、脊髄損傷その他脊椎脊髄疾患等を受け入れている。

リハビリテーション科の特徴的診療として、義肢装具、車いすシーティング、ボツリヌス療法を含む痙縮治療、嚥下内視鏡・嚥下造影検査を行っている。摂食嚥下チーム回診を行い誤嚥の防止や摂食嚥下機能回復を図っている。

また茨城県地域リハビリテーション支援体制の中で、地域リハ研修推進支援センター、地域リハ・ステーション、小児リハ・ステーションに指定され、茨城県の地域リハへも貢献し、県内のリハ関係職教育研修にも主導的な役割を果たしている。

・JCHO 東京新宿メディカルセンター（旧　東京厚生年金病院）

所在地：162-0821　新宿区津久戸町 5-1　　電話　03-3269-8111

日本医療機能評価機構認定病院

東京都 CCU ネットワーク加入施設
東京都認定がん診療病院
日本がん治療認定医機構・認定研修施設
臨床研修指定病院
二次救急医療機関
日本人間ドック学会機能評価認定施設

回復期リハビリテーション病棟　　37　床

疾患別リハビリテーション料施設基準
　　脳血管疾患等リハビリテーション料　　I
　　運動器疾患リハビリテーション料　　I

当科は二次救急対応の急性期病院に回復期リハビリテーション病棟を有するリハビリテーション科であり、急性期から回復期まで切れ目のないリハビリテーション医療を提供することを使命としている。診療対象は、脳卒中、外傷性脳損傷など脳疾患、脊髄損傷を含む脊椎脊髄疾患、骨折・関節リウマチなど骨関節疾患、神経筋疾患、呼吸器・循環器疾患、手術前後、安静臥床に伴う廃用症候群、がん患者、リンパ浮腫、高次脳機能障害などである。2011 年に新患としてリハビリテーションを実施した患者数の概数は、急性期では脳卒中・脳外傷等の脳疾患 356 人、廃用症候群症候群 117 人、呼吸・循環器疾患 96 人、脊髄損傷その他脊椎脊髄疾患 25 人、リウマチ等骨関節疾患 15 人、神経筋疾患 11 人等であった。回復期では脳卒中・脳外傷等の脳疾患 91 人、リウマチ等骨関節疾患 10 人、廃用症候群症候群 8 人、脊髄損傷その他脊椎脊髄疾患 1 人等であった。

リハビリテーション科の特徴的診療として、義肢装具、車いすシーティング、ボツリヌス療法を含む痙縮治療、電気生理学的検査、嚥下造影検査を行っている。また歯科口腔外科とともに週に1回急性期病棟において摂食機能回診を行い脳卒中急性期の肺炎予防や誤嚥性肺炎後の摂食機能回復に成果をあげている。

当院が属する JCHO・独立行政法人地域医療機能推進機構は地域医療・地域包括ケアの「要」となる総合診療医の育成に力を入れており、当科もその教育を担っている。

プログラム責任者からのメッセージ

複数の疾病や障害を抱えながら社会生活を送る人が増える中「生活再建上の目標設定」「プログラム遂行の安全を担保するリスク管理」というリハビリテーション医の役割は、程度の差はあれすべての診療科の医師に求められる。

・旭神経内科リハビリテーション病院

所在地：270-0022　松戸市栗ヶ沢 789-10　　電話　047-385-5566

診療科：リハビリテーション科、神経内科、内科、精神科

回復期リハビリテーション病棟　87 床

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料　Ⅰ

運動器疾患リハビリテーション料　Ⅰ

1982 年当院は開院し、1986 年介護老人保健施設栗ヶ沢デイホーム（46 床）、訪問看護ステーション（訪問看護と訪問リハビリ）を開設した。2000 年介護支援事業所（ケアマネ事業所、通所リハビリ、通所介護）を施設内に開設した。2003 年千葉県東葛北部地域リハビリテーション支援センター、2013 年松戸市小金原地域包括支援センター、千葉県認知症疾患医療センターを開設した。

当院では、脳血管障害、骨折、神経難病、認知症疾患等の診療とリハビリを行っている。リハビリ診療については、外来リハビリ、回復期病棟での入院治療及び老人保健施設での入所によるリハビリ、在宅リハビリとして通所リハビリ、訪問リハビリなどを行っている。

このように当施設では、回復期リハビリ病棟における入院時リハビリと退院後の在宅での包括的ケアにも取り組んでいる。

・戸田中央リハビリテーション病院

所在地：335-0026　埼玉県戸田市新曽南 4-1-29　電話 048-431-1111（代表）

診療科：リハビリテーション科、内科、皮膚科、放射線科、整形外科、歯科、

回復期リハビリテーション病棟　129 床　入院料 1・強化体制加算・充実加算

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料　Ⅰ

運動器疾患リハビリテーション料　Ⅰ

当院は 5 人の常勤医師と 3 人の非常勤医師で質の高い回復期リハビリテーションを提供し、近隣からの信頼も厚い地域密着型の病院です。

入院病床は回復期リハ病棟 3 病棟（129 床）で構成され、回復期リハ病棟には年間約 538 名の患者が入院しました。脳血管疾患等、運動器、廃用症候群のリハ対象者割合は各々70%、26%、4%であり、自宅退院率は 82%で、平均在院日数 86 日でした。

院内は狭いのですが、みんなで工夫して業務を行っております。近年は摂食嚥下障

害に対して積極的に介入を行っており（平成 26 年度の嚥下内視鏡検査 309 件、嚥下造影検査 57 件)、また、地域の歯科医とも協力して嚥下機能の向上を図っています。
付属施設のリハクリニックには、ボツリヌス毒素治療の権威である帝京大学名誉教授である栢森先生にもお越しいただき外来治療を行っております。

・NTT 東日本　伊豆病院

所在地：419-0193 静岡県田方郡函南町平井 750　　電話 055-978-2320（代表）
診療科：リハビリテーション科、内科、皮膚科、放射線科、整形外科、歯科、
　　リハビリテーション精神科、認知症疾患医療センター
回復期リハビリテーション病棟　100 床　入院料 1・強化体制加算・充実加算

疾患別リハビリテーション料施設基準
　　脳血管疾患等リハビリテーション料　　I
　　運動器疾患リハビリテーション料　　I
　　呼吸器疾患リハビリテーション料　　I

当科はリハビリテーション科指導医の部長とリハビリ専門医２名を含む合計５名の医師で回復期病棟 100 床を運営しています。その他、外来診療、通院リハビリ、介護保険による通所リハビリ、訪問リハビリも行っています。
入院での主な疾患は脳卒中、整形外科術後患者さんですが、下肢切断、神経筋疾患、循環・呼吸器疾患も経験することができます。また、栄養サポートチームと連携した摂食嚥下リハビリにも力を入れており、嚥下造影、嚥下内視鏡による嚥下機能評価をリハビリ医師が行い、その後の訓練と合わせ良好な成績を上げています。必要に応じ院内で胃瘻増設も可能です。
当院は総病床数 196 床、常勤医師 22 名の小さな病院ですが、なんでも相談しやすい良好な人間関係の医局が自慢です。当科で対応困難な回復期病棟入院患者さんの合併症についても各診療科(内科、整形外科、皮膚科、精神科、歯科)による支援体制が整っています。
また、2015 年 9 月 4 階建ての新病院が完成しました。回復期病棟、訓練室が３階ワンフロアーに全面的に移転し、ハード面も充実しています。このようにソフト、ハードともに良好な研修環境を提供できます。
平成 26 年度の新患数は脳卒中 200 名、脊髄疾患 30 名、リウマチ等骨関節疾患 150 名、その他廃用症候群など 20 名となっています。

・東京都立北療育医療センター
所在地：114-0033　東京都北区十条台一丁目 2 番 3 号　　電話 03-3908-3001

診療科：内科、神経内科、小児科、整形外科、眼科、歯科
　医療型障害児入所施設・療養介護、医療型児童発達支援センター、生活介護
医療病棟と外来部門

疾患別リハビリテーション料施設基準
　　脳血管疾患等リハビリテーション料　　Ⅰ
　　運動器疾患リハビリテーション料　　Ⅰ・Ⅱ
　　呼吸器疾患リハビリテーション料　　Ⅰ
　　障害児（者）リハビリテーション料

リハビリテーション科病床数：120 床

旧肢体不自由児施設（東京都立北療育園）を前身とする障害児・者のための医療・療育施設である。医療型障害児入所施設・療養介護（旧肢体不自由児施設・旧重症心身障害児施設）、医療型児童発達支援センター（旧肢体不自由児通園施設）・生活介護（旧重症心身障害者通所施設）の他に、医療病棟と外来部門を併設している。
病床数は院全体で 120 床である。
新患は年間 300 名前後で、疾患別では運動発達遅滞 70%、精神発達遅滞 50%、言語発達遅滞・構音障害 25%、摂食嚥下機能障害 15%、発達障害 25%（重複あり）である。
施設の常勤として神経内科専門医 2 名が在籍しているため、成人期以降の脳性麻痺やダウン症、神経難病、脳血管障害の患者の受診もある。
整形外科では年間 20～30 件程度、主として脳性麻痺などの下肢腱延長手術を行っており、リハビリテーション科専攻医も手術に参加できる。
痙性斜頸、上下肢痙縮に対しては、A 型ボツリヌス毒素療法も実施している。

・新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院

所在地：949-7302　新潟県南魚沼市浦佐 4132 番地　　電話：025-777-3200
災害拠点病院、厚生労働省臨床研修指定病院（基幹型＋協力型）

疾患別リハビリテーション料施設基準
　　心大血管疾患等リハビリテーション料　Ⅰ

脳血管疾患等リハビリテーション料　I
運動器疾患リハビリテーション料　I
呼吸器疾患リハビリテーション料　I
がん患者リハビリテーション料

当院は平成 27 年 6 月に開院した、新潟県魚沼医療圏にて唯一の高度急性期を担う総合病院である。また当院は新潟大学地域医療教育センターを併設した新潟大学附属の教育機関でもあり、学生教育や研修医教育にも力を入れている。

リハビリテーション科は当院の主要な部門の一つであり、診療対象は脳血管障害や脳腫瘍、脳外傷等の中枢神経領域、骨折や骨関節疾患といった運動器領域、脊髄損傷、小児疾患、神経・筋疾患、切断、内部疾患など幅広い領域に対応している。

また嚥下障害や補装具作製や自動車運転再開支援など、リハビリテーション科診療が担う重要な内容にも取り組んでいる。

・東京北医療センター

所在地　東京都北区赤羽台 4-17-56　電話　03-5963-3311

診療科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、小児科、外科、内視鏡外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、リハビリテーション科、放射線診断科、麻酔科、病理診断科

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料　I
運動期リハビリテーション料　I
呼吸器リハビリテーション料　I
心大血管疾患リハビリテーション料　I
廃用症候群リハビリテーション料　I
がん患者リハビリテーション料

リハビリテーション科病床数：　3 床　（他科の入院患者に対しては併診で対応）

紹介文：急性期疾患の加療を行う急性期病院で、平均在院日数約10日の中で、自宅退院もしくは回復期の治療施設への転院までの間の、急性期のリハビリテーションを主に行っている。リハビリテーション科専門医は常勤医1名で、院内の他の診療科から診療依頼があった患者を中心にリハビリテーションを施行している。整形外科領域の外傷や変性疾患の術後のリハビリテーションをはじめとして、脳血管障害、呼吸器系疾患、急性心筋梗塞に対するPCI後等の循環器系疾患、がん患者等、種々の患者に対するリハビリテーションを入院後可及的早期から介入し、合併症の発症を予防しつつ早期退院を目指して、主担当診療科と連携をとって行っている。また、

退院後早期の訪問リハビリテーションも必要に応じて当院より提供している。退院後の在宅療養生活におけるADL上の障害を早期に発見し、他の在宅介護保険サービス事業者と連携して対応することにより、切れ目のないリハビリテーションを継続し、各症例のQOLを可及的に向上させることを常に念頭に置いた診療を行っている。また、併設の介護老人保健施設と連携をとり、慢性期の患者に対して、装具の調整等必要な処置を適宜行っている。

・東京都立東大和療育センター
所在地　207-0022　東京都東大和市桜が丘三丁目 44 番 10 号　電話 042-567-0222
診療科：小児科、内科、神経内科、リハビリテーション科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、精神科、歯科、外科
医療型障害児入所施設・療養介護、生活介護、医療病棟と外来部門

疾患別リハビリテーション料施設基準
　　脳血管疾患等リハビリテーション料　Ⅱ
　　運動器リハビリテーション料　　Ⅱ
　　呼吸器リハビリテーション料　　Ⅰ
　　障害児（者)リハビリテーション料
　　集団コミュニケーション療法料
リハビリテーション科病床数：0 床

重症心身障害児の福祉施設として、成人した患者の長期入所・在宅支援としての短期入所･高卒者の通所事業を実施するとともに、重い心身障害児･者への療育を実施している。128 床の内訳は長期入所 92 床、短期入所 28 床、医療入院 8 床で、リハビリテーション科単独の病床はないが、長期入所全員に対してリハビリテーションを実施している。外来では、脳性麻痺、ダウン症候群等の先天異常による疾患、自閉スペクトラム症や注意欠如多動症などの発達障害を中心に、あらゆる小児疾患の患者を扱っている。歯科と協同での摂食嚥下リハビリテーション、ボツリヌス毒素治療、オーダーメイド車椅子や補装具作製も実施している。手術は実施していないが、小児に対する療育だけでなく、地域の福祉施設や訪問リハビリテーションスタッフと連携して、成人期になった小児疾患患者の在宅生活を支援するリハビリテーションも実施している。
神経放射線専門医を招いての MRI カンファレンス、児童精神科医を招いての発達障害児者ケースカンファレンスを小児神経科と合同でそれぞれ年 6 回程度実施している。

・国立精神・神経医療研究センター
所在地　小平市小川東町４－1-1　　電話：042-341-2711

疾患別リハビリテーション料施設基準
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅱ
運動期リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ

当院は、研究機関を併設した神経筋疾患、精神疾患を対象とする専門病院であり、基礎から臨床まで、興味にあわせて研修することができる。例えば、パーキンソン病関連疾患について状態に即したアプローチ、筋ジストロフィーについての診断から呼吸リハ・環境整備・就学就労支援・遺伝子治療の国際共同治験など多岐にわたる対応を行っている。希少な神経疾患についてまとまった症例数の臨床経験を積むことができること、多科にまたがる多くの研究があり興味に応じて参加することが可能である。山梨大学大学院、千葉大学大学院との連携体制をとっており学位取得の対応も可能である。リハビリテーション医学会専門医４名（リハ科３名。整形外科１名）の指導体制がある。

・JR 東京総合病院・リハビリテーション科
所在地　〒151-8528　東京都渋谷区代々木 2-1-3 電話代表　03-3320-2200

臨床研修医指定病院、東京都指定二次救急医療機関、東京都認定がん診療病院、日本医療機構評価認定病院
リハビリテーション科病床数　42 床
回復期リハビリテーション病床数　42 床
疾患別リハビリテーション料施設基準
脳血管疾患等リハビリテーション料　Ⅰ
運動期リハビリテーション料　Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料　Ⅰ
心大血管リハビリテーション料　Ⅰ
がん患者リハビリテーション料

JR 東京総合病院リハビリテーション科は、1966 年に開設された歴史のある施設で、現在は急性期リハビリとして整形外科疾患、特にＴＨＲ、ＴＫＲ、ＡＣＬ再建術後が多く、大腿骨頚部骨折や脊椎圧迫骨折症例もあり、また脳卒中の急性期～回復期リハビリテーションも行っています。切断に対するリハビリテーションは特に歴史も古く下腿義足だけでなく大腿・股義足から筋電義手を含めた上肢の前腕・上腕・肩離断に対する義手の製作・リハビリテーションも行っています。平成 17 年８月～平成 25 年３月まで東京都区西南部地域リハビリテーション支援センターに指定され、渋谷・世

田谷・目黒区を中心とした地域の医療・介護連携の構築を目指した事業を行っていました。平成 19 年 12 月～回復期リハビリテーション病棟 42 床を開設し、脳卒中や骨折後・切断肢等の回復期リハビリテーションを行っています。平成 22 年 4 月～ロボットスーツ HAL を導入し、さまざまな疾患に用いて有用性を検証しています。平成 23 年 3 月～区西南部脳卒中地域連携パスの構築・運用開始し回復期施設として脳卒中患者の診療連携を行っています。平成 23 年度～がんリハビリテーション研修を受け、がんリハビリテーションを継続しています。平成 25 年度～片側上肢切断者への労災筋電義手支給適応に伴い、筋電義手製作者が増加しております。

・上尾中央総合病院
所在地　埼玉県上尾市柏座 1－10－10　電話：048-773-1111

疾患別リハビリテーション料施設基準
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
運動期リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
心大血管疾患リハビリテーション料　Ⅰ
廃用症候群リハビリテーション料　Ⅰ
がん患者リハビリテーション料

当院はハイケアユニット病床、急性期一般病床、回復期リハビリテーション病床、緩和ケア病床と 733 床を有する病院であり、超急性期から回復期まで様々な疾患に携われることができます。超急性期治療の中、早期離床や廃用予防も考え早期からリハビリテーションを介入しています。

回復期リハビリテーション病棟では整形外科疾患、内科（脳卒中、循環器、消化器含む）、外科（脳神経外科、心臓外科、形成外科含む）幅広い疾患を受け持っている。急性期治療後に身体に障害をきたした患者も多く存在するため、家庭復帰、社会復帰できるように 365 日体制で診療を行っている。看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士を含めた医療スタッフのチームアプローチ並びに多職種カンファレンスを行なっています。

・医療法人社団協友会　吉川中央総合病院　リハビリテーション科
所在地：342-0056　埼玉県吉川市平沼 111 番地　　電話　048-982-8311

疾患別リハビリテーション料施設基準
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ

廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
運動器リハビリテーション料Ⅰ

当科は二次救急対応の急性期病院に回復期リハビリテーション病棟を有するリハビリテーション科であり、急性期から回復期まで切れ目のないリハビリテーション医療を提供している。診療対象は、脳卒中など脳疾患、骨折など骨関節疾患、呼吸器疾患、手術前後、安静臥床に伴う廃用症候群、高次脳機能障害などである。回復期病棟にて 2022 年度に新患としてリハビリテーションを実施した患者数の概数は、脳卒中等の脳疾患 71 人、廃用症候群症候群 27 人、呼吸疾患 3 人、骨折など骨関節疾患 199 人であった。

当院は、急性期、回復期、維持期、生活期（外来リハビリ、訪問リハビリ、通所リハビリ）と切れ目のないリハビリテーション医療に力を入れている。近年では、短時間通所リハビリを開設し、また、吉川市自治会等において体操指導、ボランティアの指導者育成など、吉川市と協力して予防リハビリテーションの提供も行っている。

Ⅸ. 研修中の身分・待遇

1）基幹施設

帝京大学医学部附属病院リハビリテーション科

雇用形態：常勤医（以下、シニアレジデントの待遇を掲載）
給　与：￥180,000　　既定範囲内の兼業可能
勤務形態：勤務時間 9：00～17：00
週 4.5 日勤務
当直：無
社会保険：日本私立学校振興・共済事業団加入，労災保険，雇用保険
健康診断：年 2 回
休暇：　年間 10 日（2 年目以降 11 日）
宿舎：無
専攻医室：有
カンファレンス室：有
図書館：有

2）連携施設

帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション科

雇用形態：常勤医（以下、帝京大学シニアレジデントの待遇を掲載）
給　与：￥180,000　　既定範囲内の兼業可能
勤務形態：勤務時間 9：00～17：00
週 4.5 日勤務
当直：無
社会保険：日本私立学校振興・共済事業団加入，労災保険，雇用保険
健康診断：年 2 回
休暇：　年間 10 日（2 年目以降 11 日）
宿舎：無
専攻医室：有
カンファレンス室：有
図書館：有

筑波記念病院
雇用形態：常勤職員
給与：￥550,000～
勤務形態：勤務形態：勤務時間 8：30～17：30（水曜日 8：00～）週 5 日勤務
日当直：有（手当て有）
社会保険：健康保険、厚生年金、雇用保険
健康診断：年 2 回
休暇：6 ヵ月継続勤務 10 日
宿舎：有（空室状況による）
専攻医室：有（合同医局）
カンファレンス室：有
図書館：有

JCHO 東京新宿メディカルセンター　リハビリテーション科
雇用形態：非常勤職員
給　与：￥359,200 円（医歴 3 年目・基本給）
勤務形態：勤務時間 8：30～17：30
月 21 日勤務
日当直：有（手当て有）
社会保険：健康保険，厚生年金，雇用保険
健康診断：年 2 回
休暇：3 カ月継続勤務 2 日、6 カ月継続勤務 8 日
宿舎：有
専攻医室：有
カンファレンス室：有

図書館：有
その他：年間賞与有、超過勤務手当て有

旭神経内科リハビリテーション病院　リハビリテーション科
雇用形態：非常勤職員
給　与：￥500,000 円（医歴 4 年目、平成 26 年 4 月時点）
勤務形態：勤務時間 8：30～17：30
月 16 日勤務
当直：無
社会保険：健康保険，厚生年金，雇用保険
健康診断：年 1 回
休暇：2 カ月継続勤務 3 日、6 カ月継続勤務 10 日
宿舎：無
専攻医室：有
カンファレンス室：有
図書館：有

戸田中央リハビリテーション病院　リハビリテーション科
雇用形態：常勤
給　与：￥600,000～
勤務形態：勤務時間 9：00～17：30
月　21 日勤務
当直：（希望により）有
社会保険：健康保険，厚生年金，雇用保険
健康診断：年　1 回
休暇：2 カ月継続勤務 3 日、6 カ月継続勤務 10 日
宿舎：在住場所によって支給規定あり
専攻医室：有（合同医局）
カンファレンス室：有
図書館：無（IT 医中誌契約あり）

NTT 東日本　伊豆病院　リハビリテーション科
雇用形態：非常勤
給　与：￥621,400
勤務形態：勤務時間８：３０～１７：００
月２１日勤務
当直あり

社会保険：健康保険、厚生年金、雇用保険
健康診断：年１回
休暇：２カ月継続勤務３日、６カ月継続勤務１０日
宿舎：有
専攻医室：有
カンファレンス室：有
図書館：有

東京都立北療育医療センター　整形外科
雇用形態：非常勤または無給での研修
給　与：非常勤日額 41200 円（医歴 5 年）
勤務形態：勤務時間 8:30 - 17:30
月 16 日勤務
当直：無
社会保険：非常勤の場合　健康保険、厚生年金、雇用保険
健康診断：年 1 回
休暇：非常勤の場合　年次有給休暇は 6 ヶ月継続勤務で 7 日
宿舎：無
専攻医室：有（総合医局）
カンファレンス室：有
図書室：有

新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院　リハビリテーション科
雇用形態：常勤医
給　与：￥608,563（固定給）別途手当あり
勤務形態：勤務時間 8：30～17：30（休憩 1 時間）
週 4 日勤務
雇用期間：6～12 月
社会保険：健康保険（協会けんぽ），厚生年金保険、労災保険，雇用保険
健康診断：年１回
休暇：　雇用期間６月の場合年間 8 日、12 月の場合年間 16 日
宿舎：有
研究室：有
カンファレンス室：有
図書館：有

東京都立東大和療育センター　リハビリテーション科

雇用形態：研修医
給　　与：医暦３年の場合　日額 39,400 円
勤務形態：勤務時間 8:30～17:15（７時間４５分）
週５日勤務　うち研究日０．５日
当直なし
社会保険：加入
健康診断：年１回
有給休暇：　6 ヶ月勤務後１０日付与
宿舎：有（単身者用）
専攻医室：有（総合医局）
カンファレンス室：有
図書館：有

東京北医療センター
身分：専修医（常勤医師）
給与：東京北医療センター医師給与規定による
専修医年俸　1 年目 600 万円～2 年目 640 万円～
手　当：宿日直手当(1 回)3 万円、家族手当､通勤手当等別途支給
社会保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、退職年金制度、医師賠償責任保険加入
宿　舎：敷地内に職員寮あり(空室状況による)、病院近くに医師住宅あり(空室状況による)
休　暇：有給休暇初年度 10 日、特別休暇
研修資金貸与制度：三ヶ月の試用期間後、希望者に貸与する制度有り　年間 150 万円
その他：学会、研究会への参加費支給あり

国立精神・神経センター病院・リハビリテーション科
雇用形態:　後期研修医(レジデント)　非常勤職員
勤務形態：　週 31 時間勤務　当直 1－2 回/月
手　当：　(独)国立精神・神経医療研究センター非常勤職員給与規程による
＜参考＞平成 24 年度見込み年額　約 500 万円＋宿日直手当約 30 万円
社会保険等：社会保険（健康保険、厚生年金)、雇用保険に加入。
医師賠償責任保険は個人で加入。
健康診断：　年一回
宿　舎：　なし、住宅手当の支給なし
専攻医室：　なし　専攻医机：有

図書室 ：　　有
カンファレンス室：有
院内保育所あり（週２日夜間保育あり）

上尾中央総合病院　リハビリテーション科
雇用形態：専攻医
給　与：￥660,000 円（1 年目～）770,000 円（2 年目～）
勤務形態：週 5 日勤務
休暇：3 カ月に 3 日、6 カ月後に 7 日、初年度：10 日
日当直：有（手当て有）
社会保険：健康保険，厚生年金，雇用保険、労災保険、保養所
健康診断：年１回
宿舎：有
専攻医室：有
カンファレンス室：有
図書館：有

医療法人社団協友会　吉川中央総合病院　リハビリテーション科
雇用形態：専攻医
給　与：￥660,000 円
勤務形態：週 5 日勤務
日当直：有（手当て有）
社会保険：健康保険，厚生年金，雇用保険，労災保険
健康診断：年 1 回
休暇：3 カ月継続勤務 3 日、6 カ月継続勤務 7 日、初年度 10 日
宿舎：有
専攻医室：有
カンファレンス室：有
図書室：有

Ｘ．研修管理組織

以下の研修管理委員会によって管理を行う。

1）帝京大学医学部附属病院専門研修管理委員会（仮称）

2）帝京大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修プログラム管理委員会

3）専門研修プログラム連携委員会

XI．研修コース

1 年次は、原則として、帝京大学医学部附属病院リハビリテーション科および関連科における基本研修を行う。

2 年次は、3～6 カ月単位のローテートとし、回復期リハビリテーション病棟と介護保険関連施設での地域研修を行う。

3 年次は帝京大学医学部附属病院リハビリテーション科および関連科における基本研修を行いながら、小児療育施設での研修も併行する。

例（2 名の場合）

<table>
<tr><td>1 年目</td><td colspan="2">2 年目</td><td colspan="2">3 年目</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>期間（前半）</td><td>期間（後半）</td><td>通年</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">帝京大学
医学部
附属病院
リハ科
関連他科</td><td>JCHO
伊豆病院　等
（回復期等）</td><td>旭神内リハ病院
（生活期：入所）
霞ヶ関南病院
（生活期：通所・訪問）
等</td><td>帝京大学医学部
附属病院
リハ科
北療育医療
センター
（小児リハ）</td><td>帝京大学医学部
附属病院
リハ科
および関連他科</td></tr>
<tr><td>旭神内リハ病院
（生活期：入所）
霞ヶ関南病院
（生活期：通所・訪問）
等</td><td>JCHO
伊豆病院　等
（回復期等）</td><td>帝京大学医学部
附属病院
リハ科
北医療センター
および関連他科</td><td>帝京大学医学部
附属病院
リハ科
北療育医療
センター
東大和療育
センター
（小児リハ）</td></tr>
</table>

（研修に関する付記事項）

基幹施設においては，以下の研修プログラムも計画する。

1)関連施設での研修

2)月 1 回の全体勉強会への参加と発表

3)週 1 回の科内での症例検討会への参加と発表

4)週 1 回の関連職種との症例検討会への参加と発表

5)週 1 回行われている緩和ケアカンファレンスへの参加

6)月 1 回行われている骨転移カンファレンスへの参加

7)病院職員全体を対象とした医療倫理、医療安全、院内感染対策等の研修会

8)指導者等が行っている研究活動への協力

9)関連学会、研究会への参加と発表

Ⅻ. 研修プログラム・モデルコース

	1年目			2年目		
	前期		後期	前期	後期	
専攻医研修	リハビリテーション科	循環器内科	整形外科	回復期リハビリテーション病棟	生活期入所：老健施設	生活期通所・訪問
		（心臓リハビリテーション）	（含：救命外傷チーム）	JCHO東京新宿メディカルセンター	栗ヶ沢デイホーム	霞ヶ関南病院
	3ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	3ヶ月	3ヶ月
	主科外来3回／週	主科外来2回／週	主科外来2回／週	主科外来1回／週	主科外来1回／週	主科外来1回／週
身分	帝京大学医学部附属病院専攻医			JCHO東京新宿メディカルセンター職員	弥生会職員	真生会職員
外勤						
大学院	帝京大学大学院リハビリテーション科学					
兼務の場合	研究テーマ検討	文献収集				
				データ収集		
					学会発表	
学会	内科	リハ	脊髄	整形外科	リハ	脊髄
				内科		
研修会		緩和ケア研修会	義肢装具判定			
その他						

	3年目			4年目（希望者のみ）		
	前期		後期	前期		後期
専攻医研修	リハビリテーション科		脳神経外科	神経内科	緩和ケア科	呼吸器科	リハビリテーション科
	6ヶ月		3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
	主科外来3回／週		主科外来2回／週	主科外来2回／週	主科外来2回／週	主科外来2回／週	主科外来3回／週
	小児リハビリテーション		筋電図				
	北療育医療センター　1～2回／週		1回／週				
	専門医試験勉強			専門医申請	試験		
身分	帝京大学医学部附属病院専攻医						
外勤							
大学院							
兼務の場合			論文執筆				学位取得
		学会発表					
学会	内科	リハ	脊髄	内科	リハ	脊髄
研修会						
その他			身障指定医申請			